



さわやか



教育課程編成に当たって

「木を見て、森を見ず！」という諺があります。これは、物事の一部や細部に気を取られて、全体を見失うことを意味するものです。

一昨日、交通教室の時数について、1時間減らすのかについて協議されました。ここで大事なものは、1時間減らしても、ねらいが達成されるのか？を協議することです。判断基準は、「ねらいの達成」です。1時間の授業でも、ねらいが達成できるのであれば減じてもいいでしょう。どうしても1時間しかとれないというときは、ねらいとねらい達成のための活動を吟味しなければなりません。特に、子どもの安全指導については、指導要領や県・市の重点等を踏まえて判断していくことが大切です。

次年度は、時数的に厳しいです。とにかく削れるものを削って！ではなく、学校目標や行事のねらいを第一に考え（森を見る）、その中で何を（木）精選していくかが大切です。

目標の設定

どんな子どもを育てたいのかを、具体的に持つことが大切です。

あいさつに関する児童像の話し合いでは、「明るく元気に～」と「進んで～」では、後者がよいということでした。本校で目標としているのは、「気持ち伝わるあいさつ」ができる子です。あいさつされる方がうれしいし、名前を付けてあいさつされたら、なおうれしいものです。

「明るく元気」は抽象的で、子どもが自己評価するにはむずかしいです。それよりも、「進んで」の方が具体的で自己評価しやすいです。しかも本校が目標とする姿に合致します。

あいさつは、心を開く行為です。だから、あいさつされるとうれしいのです。そんな意味も子ども達に教え、実感させていきたいものです。

目標“値”の設定

学校アンケート等は、4件法で行っているのが通常です。

4（十分）と3（満足）を肯定的な姿として、併せて表すことで全体が目標に達しているのを見えるのに適しています。4（十分）が何割占めているのを見ることで、本物になった成果を見ることができます。また、昨年と比較しどの程度増えているのを見ることができ、成果の大小を図ることもできます。

ここでも、目標・ねらいとする姿と児童の実態を見て、適切な目標値の設定、その値の妥当性を見えていくことが大切です。

スキー教室とスポーツテスト

Q：スキー教室が、会津地区のほとんどで実施しているわけは何でしょう？

A：自然とのかかわりが深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、地域や学校の実態に応じて積極的に行うことに留意する。（「指導要領解説」体育、2の内容の取り扱いより）

「会津にいてスキーをやらないのは・・・」（山本T）の通り、冬場のスポーツとして、雪国会津では、スキーが推奨されているのです。経済的負担については、補助の制度があります。レンタルの活用もあります。何より本校では、3年生からの実施として配慮しているところです。

Q：スポーツテストを実施しているのはなぜでしょう。

スポーツテストは、学力テストと同様に、指導の評価の一つとして活用されるものです。指導の成果を捉えるため。また、全国との比較で実態をつかみ次の指導に生かす目的で行うのであれば、実施する意味があります。スポーツテストを実施した結果を、どのように活用していますか？

